

全学教育 FD・SD ワークショップ：アクティブ・ラーニング講座 2
実施要領

大学教育機能開発センター

1. 趣 旨：

昨年 11 月実施の教育革新キックオフ・シンポジウム、及び 12 月実施のアクティブ・ラーニング講座 1「多様な PBL を導入した授業方法」を受けて、ジェネリックスキル育成のための学生主体の学習形態（アクティブ・ラーニング）に関する研修を継続し、新年度授業の準備を支援する。いずれの研修もワークショップ形式とし、①概論的な講義、②実践事例と評価、③具体的な指導方法の体験的理解、④授業への導入計画立案の要素を組み込んで、12:50～17:40 の 3 コマ通しの時間帯で実施する。

2. 対 象：

全教職員（非常勤を含む）

3. 日 時：

平成 23 年 3 月 10 日（木）12:50-17:40（3 限～5 限）ワークショップ A

3 月 14 日（月）12:50-17:40（3 限～5 限）ワークショップ B

3 月 15 日（火）12:50-17:40（3 限～5 限）ワークショップ C

4. 場 所：

いずれも教育学部 203 室（21 番教室）

5. 定 員：

いずれも 30 名程度

6. プログラム：

・ワークショップ A「アクティブラーニング事例と導入へのヒント」

講師：本学の PBL 実践者（医学部保健学科、水産学部、教育学部ほか）

本学で行われている PBL 等アクティブラーニングの事例を紹介し、実践上の留意点を整理することで、教養セミナーを含めた各学部での授業開発に資する。

（参考書）

佐藤智明他編 2008 大学 学びのことはじめ ナカニシヤ出版（初年次教育）

吉田一郎・大西弘高編 2004 実践 PBL テュートリアルガイド 南山堂（医学系）

鈴木敏恵 2010 ポートフォリオとプロジェクト学習 医学書院（看護学系）

・ワークショップ B「グループ学習の促進技法」

講師：安永悟氏（久留米大学文学部教授、日本協同教育学会会長）

PBL においてはグループ単位での活動が学習の柱になることから、教員にはグループ学習を効果的に運営・促進する技能が求められる。そこで、とくにディスカッションを有効に展開するための様々な教授技法を紹介する。

（参考書）

安永悟 2006 実践・LTD 話し合い学習法 ナカニシヤ出版

安永悟訳 2009 協同学習の技法—大学教育の手引き ナカニシヤ出版

・ワークショップ C 「学生の相互学習を取り入れたライティング指導法」

講師：大島弥生氏（東京海洋大学海洋科学部准教授）

初年次教育での日本語表現指導，とくにライティング（レポート作成）の指導は十分に行うことが難しい。そこで，学生間で相互に技能を高め合うことのできる授業方法を紹介する。

（参考書）

大島弥生他 2005 ピアで学ぶ大学生の日本語表現 ひつじ書房

大島弥生他 2009 日本語表現能力を育む授業のアイデア ひつじ書房

7. 受講証明書

参加プログラムを付記した受講証明書を1人1枚発行します。

8. 申込み方法

①次の申込み用 Web ページにてお申し込みください。（1 コマから申込可）

<https://spreadsheets.google.com/a/nagasaki-u.ac.jp/viewform?hl=ja&formkey=dDRySWlfdzdhdEY0UmlqNW1QZ2RRTXc6MA#gid=0>

②または，以下の項目を電子メールまたは FAX にて末尾の連絡先にお送りください。

- ・参加希望のワークショップ名／開催日
- ・氏名／所属／職名
- ・メールアドレス
- ・電話番号

9. 申込み締切

平成 23 年 3 月 4 日(金)

※当日，会場にて参加申込みも可能ですが，会場や進行上の都合により定員制となっておりますので，お受けできない場合があります。参加登録は申込の先着順とさせていただきますので，ご了承ください。

10. 主催 教育改善委員会

企画・実施 大学教育機能開発センター

11. 連絡先

学生支援部 教育支援課 全学教育班 島田・上島

電 話：内線 2077 (095-819-2077)

メール：fd@redc.nagasaki-u.ac.jp FAX：095-819-2259